



企画展「ひろしま再発見3」の展示風景

目次

- 1 館長挨拶
- 2 企画展「ひろしま再発見3」
- 2 企画展「夏休みおぼけの博物館」
- 3 イベント「郷土資料館被爆建物案内」
- 4 博物館実習・インターンシップ
- 4-5 活動報告
- 6 平成28年度 後半イベント

館長挨拶

今年は、大きな出来事がすでに三つありました。一つ目は、5月27日、アメリカのオバマ大統領が現職大統領として初めて広島を訪れ、原爆によって犠牲となられた方々を追悼し、核兵器のない平和な世界を追求するメッセージを残されたことです。被爆建物でもある当館では、このメッセージに勇気をもらい8月6日の「被爆建物案内」にご来館いただいた皆様とともに核兵器のない平和な世界への強い思いを共有いたしました。

二つ目は、NHKのバラエティ番組「ブラタモリ」が広島にやってきたことです。タレントのタモリさんが広島をぶらぶら歩きながら、街の歴史や人々のくらしを紹介されたのですが、その案内役を当館の本田学芸員が務めさせていただきました。この中では、当館が5月28日に開催したフィールドワーク「南区段差めぐり」のコースを一部巡っています。

三つ目は、広島カープが25年振りにリーグ優勝を果たしたことです。奇しくも、当館では、来春の企画展で「広島スポーツ」を開催することになっておりますが、この中でも広島カープの優勝の余韻に浸っていただければと思います。たくさんの皆様のご来館をお待ちしております。

(館長 中田 幸治)

企画展

「ひろしま再発見3」

会期：2016年4月23日(土)～2016年7月3日(日)

「ひろしま再発見3」は、平成26年度実施の『ひろしま再発見』の第3弾として、ひろしまの中世から近世を対象として企画された展示です。

ひろしまの中世は、東国武士の西遷で特徴づけられます。古代終末の源平の合戦の結果、それまで力を持っていた朝廷や寺社の勢力にかわって、武士が台頭してきます。鎌倉幕府が開かれ、守護・地頭が全国に置かれることになると、ひろしまでも朝廷や寺社の関係の荘園などに、東国の御家人たちの支配が及ぶようになります。彼らは元寇や南北朝の騒乱を契機として、東国の本来の領地を離れ、西国の領地の経営に本格的に取り組むようになります。彼らは、新しい領地に定着し、それを守るための山城を次々に造り、それぞれに独立した国人領主として、成長していきました。今回の展示では山城の分布とそこからの出土品を展示することを通して、一所懸命に所領を守ろうとする彼らの姿とその生活ぶりを紹介することを意図して、構成しました。

やがて毛利氏によって中国地方の統一が行われ、それをおさめるための城と城下町の建設がはじめられます。現在の広島市の市街地の誕生です。当時、葦の原だったといわれる太田川河口に、広大な城地を持つ広島城と、現在の街並みにもつながる碁盤の目状に整備された城下街が毛利・福島・浅野の三代にわたって建設されました。発掘調査は主に広島城内を対象として、26年間、12か所以上で行われ、少しずつ当時の様子がわかるようになってきました。展示では、市街地の中心地の1／1000の航空写真に調査成果を重ねることにより、江戸時代と現在の街並みの比較を行いました。原爆の惨禍により断ち切られたかに見られる江戸時代からの街並みが、現在にまでつながっていることがよくわかりました。出土品としては、多量に出土する廃棄物の中から、江戸時代の暮らしぶりの復元を試み、現代へつながる生活道具や時代特有の出土品も取り上げながら、我々に直接繋がる祖先の生きた江戸時代という時代の紹介に努めました。

(若島 一則)



展示風景

企画展

「夏休みおばけの博物館」

会期：2016年7月21日(木)～2016年8月28日(日)

郷土資料館では夏休み期間中の恒例行事として、妖怪やおばけをテーマとしたイベントや展示を行ってききましたが、今年度は「夏休みおばけの博物館」と題して企画展を開催しました。

展示会場は1階と2階の二か所に設け、1階の展示ホール及び体験コーナーでは解説パネル・写真パネルなどを



展示風景

展示し、妖怪・おばけの多様な世界や、これらが生み出された背景、江戸時代の妖怪画、広島市内における妖怪・おばけの事例などを紹介しました。また、2階企画展示室では、夏の定番イベント”おばけ屋敷”を迫体験していただけるよう、暗くした室内に妖怪の立体模型を展示しました。

ところで、今回の展示では出来るだけ文献史料で確認できる地元広島の妖怪やおばけを紹介したいと思い、事例を探しました。その結果、戦前の広島に『近世妖怪談』という和古書があり、そのなかの一部が『芸備今昔話』という民話集に採録されていることが分かりました。『近世妖怪談』は上・中・下三冊からな

る怪談集で、昭和初期に浅野図書館（旧広島藩主浅野家が大正15年〔1926〕に現在の中区小町設立した図書館。後に広島市に寄附された）に架蔵されていた怪談集のようです。『芸備今昔話』に採録された事例以外の内容や著者は不明ですが、三冊組という数量からは広島の事例だけでなく全国の怪談が採録されているものと予想されます。成立時期については、中巻に「享和五年甲子」（原文のまま。享和4年〔1804〕の間違いと考えられる）、下巻に「文化三年丙寅」（1806）という年次が見られたそうですが、嘉永7年（1854）の事例も見られるため、明治時代になってから成立したのかもしれません。

一方、『芸備今昔話』は当時広島高等師範学校の教授だった歴史学者・及川儀右衛門（1892～1974）が著した広島県地方の民話集で、及川は『近世妖怪談』から次の八事例を採録しています。

- ① 「矢倉下の怪異」（櫓下〔現在の中区原爆ドーム前電停付近に住む人が太田川土手で体験した正体不明の妖怪の話）、
- ② 「心行寺土手の怪」（享和3年〔1803〕、現在の中区白島九軒町にあった寺院での幽霊話）、
- ③ 「侍屋敷の妖怪」（城下六丁目〔現在の中区大手町の一部〕の武家屋敷の住人を襲った正体不明の妖怪の話）、
- ④ 「牛田村の怪異」（牛田村〔現在の東区牛田〕在住の武士が山中で遭遇した大入道の話）、
- ⑤ 「毒酒賣の老婆」（嘉永7年〔1854〕の広島城下で夜中に毒酒を売り歩いていた老婆の話。酒を飲んでも、老婆と話をしても死ぬと噂され、老婆除けの札が家々の門柱にはられたとされる）、
- ⑥ 「朧月夜に可部の下り船に怪しき者出て船中の人怖るゝ事」（可部を出発して太田川を下る川船に現われた、カワウソらしき妖怪の話）、
- ⑦ 「狐女をたばかること」（新愛宕町〔現在の南区京橋町〕に住む馬方の妻が、岩鼻〔現在の東区東山町〕付近で狐にばかされた話）、
- ⑧ 「茶臼山の怪」（大茶臼山〔西区己斐上〕に登った武士が野衾らしき妖怪に襲われた話）



毒酒賣の老婆

残念ながら、展示では全事例を紹介することは出来ませんでしたが、解説パネルで「牛田村の怪異」「毒酒賣の老婆」「朧月夜に可部の下り船に怪しき者出て船中の人怖るゝ事」「茶臼山の怪」を紹介したほか、「毒酒賣の老婆」を題材に立体模型を造って展示しました。残された事例も今後何らかの形で詳しく紹介したいと思います。（篠原 達也）

イベント「郷土資料館被爆建物案内」

実施日：2016年8月6日（土）

8月6日の原爆記念日に、広島市の平和関連事業の一環として、被爆建物である当館の建物（旧宇品陸軍糧秣支廠缶詰工場）についての案内などを行いました。

当館のエントランスにある原爆の爆風によって折れ曲がった鉄骨のそばで解説を行いました。また、2階講堂では、戦中戦後の食糧難の中で食べられた江波団子や一銭洋食の試食、宇品港から出港する兵士や見送る人々の姿をとらえた貴重な映像を放映しました。（若島 一則）



エントランスでの解説の様子



一銭洋食づくりの様子

博物館実習・インターンシップ

実施日：2016年10月17日（土）～2016年1月11日（月・祝）

博物館実習

今年度も学芸員資格取得を希望する学生のための見学実習と館務実習を受け入れました。見学実習では収蔵庫などのバックヤードを見て頂き、普段は立ち入ることの出来ない博物館の中核に触れて頂きました。また、館務実習では、資料の取扱、展示や教育普及事業の立案・準備などについて学んで頂いたほか、8月6日にはイベント「被爆建物案内」のガイド役も務めていただきました。（篠原 達也）

見学実習 6月8日（水） 広島市立大学 11名

6月9日（木） 県立広島大学 8名

館務実習 8月2日（火）～7日（日） 6日間

県立広島大学、比治山大学、広島女学院大学 4名

えました。こどもさんが多く来館されている賑やかな館内で、悪戦苦闘しながら教室事業や小学校の校外学習の補助などに従事していただきました。

（本田 美和子）

8月16日（火）～20日（水） 安田女子大学 2名

8月23日（火）～27日（土） 安田女子大学 2名

9月 6日（火）～10日（土） 比治山大学 1名



博物館実習の様子

活動報告

2016年4月～2016年10月

教室事業

4月17日（日） 和菓子作り（親子教室）

4月29日（祝） かしわもち作り

5月28日（土） 南区段差めぐり（フィールドワーク）

6月 4日（土） 藍でハンカチ染め

6月16日（木） 藍染Tシャツ作り（大人向け教室）

7月 2日（土） 七夕飾り作り

7月10日（日） 藍染Tシャツ作り

8月27日（土） 大人の染身体験（大人向け教室）

9月 10日（土） 手すきはぎ作り

9月 24日（土） 月見団子作り

10月 8日（土） お手玉作り（親子教室）



親子教室「和菓子作り」



大人向け教室「藍染Tシャツ作り」

夏休みわくわくイベント～遊びの広場～

7月26日(火)・27日(水) メンコ&福笑いで遊ぼう
 7月28日(木)・29日(金) 竹とんぼ&輪投げで遊ぼう
 8月 2日(火)・ 3日(金) 怪談お話し会と昔のレコードを聴く会



夏休みわくわくイベント～カンタン工作～

8月 9日(火)・10日(水) わくわくブンブンごま
 8月11日(木)・12日(金) オリジナルヨーヨー
 8月16日(火)・17日(水) 手作りカッコウ笛
 8月18日(木)・19日(金) トントン紙相撲



夏休みわくわくイベント～消防音楽隊コンサート～

7月31日(日) 消防音楽隊コンサート



わくわくブンブンごまを作成中



消防音楽隊コンサートの様子

その他の事業・館外活動

5月3日(火)～5日(木)	フラワーフェスティバル会場で工作指導「かんたんからくりコイノボリ」	920人
5月21日(土)	ヒロシマ・ピースフォーラムで講演「軍都広島を学ぶ」	71人
6月 5日(日)	古市公民館で出張展示解説「広島を学ぶ」	35人
6月 5日(日)	広島城メモリアルデーで工作指導「かんたんからくりコイノボリ」	128人
6月12日(日)	路面電車まつりで工作指導「上る路面電車工作」	118人
6月29日(水)	広島市健康科学館で工作指導「脳イキイキあいぞめ体験教室」	13人
7月21日(木)	祇園郷土史会で講演「広島歴史散歩入門」	20人
9月29日(木)	中野公民館で講演「広島を学ぶ」	24人



広島城メモリアルデー「かんたんからくりコイノボリ」



広島市健康科学館「脳イキイキあいぞめ体験教室」

平成 28 年度
後 期
展 示 紹 介

企画展『ごんぎつね』が語る昔の暮らし

2016 年 9 月 3 日（土）～ 12 月 4 日（日）

新美南吉の童話「ごんぎつね」のストーリーを交えながら、童話に登場する昔の道具や人々の暮らしを紹介します。

重要文化財「安芸福田木の宗山出土青銅器」展示

2016 年 10 月 22 日（土）～ 11 月 20 日（日）

日ごろは公開していない重要文化財「安芸福田木の宗山出土青銅器」（銅鐸・銅剣・銅戈）を文化の日（11月3日）の前後1か月間にわたり、解説を加えつつ公開します。

特別展『広島諸商仕入買物案内記』に見る明治前期の広島

2016 年 12 月 10 日（土）～ 2017 年 2 月 19 日（日）

明治初頭の商店の様子が絵入りで紹介されている『広島諸商仕入買物案内記』を通して、近世城下町から近代都市へと変貌しつつあった広島の様子を紹介します。



『広島諸商仕入買物案内記并二名所しらべ』（当館蔵）より

企画展 広島のスポート

2017 年 2 月 25 日（土）～ 4 月 16 日（日）

広島は戦前からスポーツ王国でした。明治から現代に至るまで、広島の人々とスポーツの関わりを追います。

ひろしま郷土資料館だより No.92 2016 年 10 月 31 日発行
編集・発行 公益財団法人広島市文化財団 広島市郷土資料館
〒734-0015 広島県広島市南区宇品御幸二丁目 6-20
TEL:(082)253-6771 FAX:(082)253-6772
URL: <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

